



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月1日

上場取引所 東 大

上場会社名 積水化成品工業株式会社

コード番号 4228 URL <http://www.sekisuiplastics.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 恵造

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長

(氏名) 藤原 敬彦

TEL 06-6365-3022

四半期報告書提出予定日 平成24年8月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	23,226	△2.2	△235	—	△290	—	△652	—
24年3月期第1四半期	23,748	△3.3	191	△84.6	169	△86.2	14	△97.6

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △620百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 371百万円 (△60.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△6.94	—
24年3月期第1四半期	0.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	99,915	48,001	47.1
24年3月期	101,889	48,911	47.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 47,067百万円 24年3月期 47,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	52,200	3.9	1,520	33.9	1,450	52.1	780	263.5	8.30
通期	109,000	7.5	4,000	76.1	3,800	80.3	2,100	182.0	22.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P.2「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	95,976,218 株	24年3月期	95,976,218 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,979,951 株	24年3月期	1,980,069 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	93,996,086 株	24年3月期1Q	93,998,787 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては発表時現在のデータにより、経営者が現状で判断する一定の前提及び仮定に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。上記の予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成24年4月1日から平成24年6月30日）の日本経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として緩やかに回復しつつあるものの、欧州債務不安に端を発する世界経済の停滞や円高の長期化など厳しい状況が続きました。日本の発泡プラスチック業界におきましては、顧客の生産減少や全般的な消費意欲の減退に加え、原材料価格の高騰もあり、厳しい収益環境となりました。

このような経営環境のなか、当社グループは3ヵ年中期経営計画「E N S 2 0 0 0（Evolution for the Next Stage 2000）」（平成22年度～平成24年度）の最終年度を迎えました。当第1四半期は、農水産資材や薄型テレビ関連をはじめとして全般的に日本での需要が低調であったことに加え、原材料価格上昇の影響を受けました。そこで、従来の組織や地域の枠を超えたチーム編成によるソリューション営業などの取り組みを進めておりますが、その効果が顕著に現れるのは年度後半となります。その結果、売上高は232億2千6百万円（前年同期比2.2%減）となり、営業損失は2億3千5百万円（前年同期は営業利益1億9千1百万円）、経常損失は2億9千万円（前年同期は経常利益1億6千9百万円）、四半期純損失は平成24年7月31日にお知らせしました公正取引委員会からの課徴金納付命令書（案）に伴う特別損失もあり、6億5千2百万円（前年同期は四半期純利益1千4百万円）となりました。

以下、各セグメントの業績は次のとおりであります。

<生活分野>

生活分野の売上高は156億7千1百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益は1千8百万円（前年同期比95.1%減）となりました。

「エスレンビーズ」（発泡性ポリスチレンビーズ）は、農水産資材関連での需要低調や円高による輸入品の増加などにより売上高は前年同期を下回りました。「エスレンシート」（発泡ポリスチレンシート）は、カップめん容器向けの前年同期における震災関連需要の反動減などから、売上高は前年同期を下回りました。土木資材関連では、「EPS土工法」などで震災復興需要が寄与し、売上高は前年同期を上回りました。また、原材料価格上昇に対して製品価格改定が遅れたことから、セグメント利益は大幅減となりました。

<工業分野>

工業分野の売上高は75億5千5百万円（前年同期比2.5%減）、セグメント利益は1億8千万円（前年同期比8.5%減）となりました。

「ピオセラン」（ポリスチレン・ポリオレフィン複合樹脂発泡体）は、日本の薄型テレビ関連における需要減退、生産海外移転の影響を受けたものの、自動車関連での需要回復や、国外での需要拡大により売上高は前年同期を上回りました。「テクポリマー」（有機微粒子ポリマー）は、液晶テレビパネルなど光拡散用途での需要停滞や、欧州での化粧品用途の受注低調により売上高は前年同期を下回りました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、999億1千5百万円（前連結会計年度末比19億7千3百万円減）となりました。資産の部では、流動資産が受取手形及び売掛金の減少などにより20億7千2百万円減少し、固定資産は有形固定資産の増加などにより9千8百万円増加しました。一方、負債の部では、賞与引当金の減少などにより流動負債が3億3千1百万円減少し、長期借入金の減少などにより固定負債が7億3千2百万円減少しました。純資産は、480億1百万円となり、9億9百万円減少しました。自己資本比率は47.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期は生活分野を中心に需要期を迎え売上が増加することや、製品価格改定が浸透することが見込まれますが、現時点において、第2四半期以降の業績予想については見直しを含め精査中ですので、業績予想への影響が判明次第お知らせする予定です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,777	5,925
受取手形及び売掛金	29,890	27,804
商品及び製品	6,242	6,822
仕掛品	126	134
原材料及び貯蔵品	2,210	2,018
その他	2,013	2,487
貸倒引当金	△63	△67
流動資産合計	47,197	45,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,669	13,626
機械装置及び運搬具（純額）	8,325	8,506
土地	18,479	18,486
その他（純額）	2,634	2,936
有形固定資産合計	43,109	43,556
無形固定資産		
のれん	12	8
その他	489	469
無形固定資産合計	501	478
投資その他の資産		
その他	11,299	10,954
貸倒引当金	△219	△198
投資その他の資産合計	11,080	10,756
固定資産合計	54,692	54,790
資産合計	101,889	99,915

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,493	18,234
短期借入金	8,568	8,910
未払法人税等	163	138
賞与引当金	910	517
役員賞与引当金	28	11
製品補償引当金	99	102
課徴金引当金	—	387
その他	9,631	9,261
流動負債合計	37,896	37,564
固定負債		
長期借入金	8,500	7,820
退職給付引当金	1,981	2,032
その他	4,599	4,496
固定負債合計	15,080	14,348
負債合計	52,977	51,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,533	16,533
資本剰余金	17,261	17,261
利益剰余金	11,893	10,959
自己株式	△654	△654
株主資本合計	45,034	44,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,484	2,243
土地再評価差額金	1,204	1,204
為替換算調整勘定	△726	△480
その他の包括利益累計額合計	2,962	2,967
少数株主持分	914	934
純資産合計	48,911	48,001
負債純資産合計	101,889	99,915

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	23,748	23,226
売上原価	18,749	18,675
売上総利益	4,998	4,550
販売費及び一般管理費	4,807	4,786
営業利益又は営業損失(△)	191	△235
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	94	92
持分法による投資利益	0	—
その他	30	44
営業外収益合計	127	138
営業外費用		
支払利息	40	42
為替差損	36	52
持分法による投資損失	—	5
その他	72	93
営業外費用合計	149	193
経常利益又は経常損失(△)	169	△290
特別利益		
退職給付引当金戻入額	25	—
貸倒引当金戻入額	11	—
特別利益合計	36	—
特別損失		
課徴金引当金繰入額	—	387
支払補償費	84	—
その他	12	10
特別損失合計	97	398
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	108	△688
法人税等	71	△44
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	37	△644
少数株主利益	22	7
四半期純利益又は四半期純損失(△)	14	△652

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	37	△644
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	182	△240
為替換算調整勘定	151	265
その他の包括利益合計	334	24
四半期包括利益	371	△620
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	344	△647
少数株主に係る四半期包括利益	27	26

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	生活分野	工業分野	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,001	7,747	23,748	—	23,748
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,214	459	1,674	△1,674	—
計	17,215	8,206	25,422	△1,674	23,748
セグメント利益	375	197	573	△404	169

(注) 1. 調整額は、以下のとおりです。

セグメント利益の調整額△404百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△403百万円、固定資産未実現利益0百万円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 各セグメントに属する主要な製品の名称

- ・生活分野—— エスレンビーズ、エスレンシート、エスレンウッド、ESダンマット、EPS土木工法
- ・工業分野—— ピオセララン、ライトロン、ネオマイクロレン、セルペット、テクポリマー、テクノゲル

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	生活分野	工業分野	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,671	7,555	23,226	—	23,226
セグメント間の内部売上高 又は振替高	615	547	1,163	△1,163	—
計	16,286	8,103	24,389	△1,163	23,226
セグメント利益又は損失(△)	18	180	199	△490	△290

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△490百万円には、セグメント間取引消去1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△491百万円、固定資産未実現利益0百万円が含まれています。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。

これによるセグメント利益又は損失(△)に与える影響は軽微であります。

4. 各セグメントに属する主要な製品の名称

- ・生活分野—— エスレンビーズ、エスレンシート、エスレンウッド、ESダンマット、EPS土木工法
- ・工業分野—— ピオセララン、ライトロン、ネオマイクロレン、セルペット、テクポリマー、テクノゲル

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。